

2011.10.10.
NO. 8

図書館九条の会



発行・「図書館九条の会」事務局

特集

東日本大震災 とともに生きる

仙台市民図書館 平形ひろみ

復興 またまた遠く

あれから半年が過ぎた。9月、仙台空港へ向かう途中、車で、津波のあった蒲生、荒浜、閑上地区を通った。かつて団地のあった場所は、家の土台が残るだけ、どこまでも平坦なその先は海。この地に住んでいた人の誰がこの光景を予想したろう。ところどころに船、1階部分がすっかりくり抜かれた家、人の気配は全くない。少し過ぎると、人の高さほどもある雑草が生い茂る。雑草の茂みをよく見ると水がのぞく。水田跡だろうか。所々壊れた堀に水は浅く、物悲しい。荒涼とした景色に胸が痛む。「被災者が現地へ行こうにも被災地を一目見ようと押しかける人が渋滞を引き起こしている。被災者を思うなら、見学はやめてほしい。」当初からそんな話を聞いていたせいもあって、これまでここを通るのを遠慮していた。

震災後、仙台より北へ行く機会が多かったが、仙台の南沿岸部をこれだけ長時間車で走るのは初めて。海も荒々しい岩場や山間部の多い三陸と穏やかな平野では津波跡の様子も全く異なる。ここには、逃げる山すらない。地盤沈下。津波が地面をほうようにしてひたひたと押し寄せる。立ち枯れた松林が、ところどころに見える。その向こうから津波は押し寄せたのだ。

名取市図書館(宮城県)

その仙台空港のある名取市図書館は建物自体が地震で大きく壊れ、建物による開館は難しい状態である。

移動図書館も運行していない。それでも、北海道石狩市民図書館をはじめとする他からの支援もあって、5月10日から今も移動図書館用の書庫と移動図書館車を利用しての臨時窓口を開いている。

9月下旬、震災後初めてここを訪れた。何度か電話やメールで職員と連絡をとっていたし、名取市のホームページでおおよその様子は知っているつもりだった。けれども、今回訪問してみて、何一つわかっていなかったということを思い知らされた。今も雨漏りする屋根、

目次

- ① 東日本大震災 とともに生きる 平形ひろみ
 - ④ 「野の道」～未来の命を守るために～
草谷桂子
 - ⑥ 会員交流～北から南から～
 - ⑫ 図書館人としての土岐善磨先生 朝倉雅彦
 - ⑬ 2館の資料館見学会 石川ゆたか 池沢昇
 - ⑭ 徐京植氏と吉田博徳氏の視座は同じ 漆原宏
学習会講演録&九条バッヂを販売しています
 - ⑮ 2011年度決算報告・2012年度予算
 - ⑯ 2011年度活動報告・2012年度活動予定
- 第8回図書館九条の会学習会予告

計報

福島安子氏(2010年11月22日)、菅原峻氏(2011年6月24日)のお二人がご逝去されました。茲にお二人のご冥福をお祈りいたします。なお、「会員交流」欄(P6～P11)に哀悼の辞を掲載いたします。